

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-522765(P2001-522765A)

【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)

【出願番号】特願2000-520356(P2000-520356)

【国際特許分類】

B 6 5 D 57/00 (2006.01)

B 6 5 G 49/06 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 57/00 B

B 6 5 G 49/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

ドイツ連邦共和国特許第3442970号明細書は、平坦なガラス板で発生するこのような問題を解決している。そこでは、積み重なった複数のガラス板の外側の平坦なガラス板面に沿って貼付する1本の帯状の挿入部材(Zwischenlage)が開示されている。このスペーサは、弾性的な吸盤によって滑らかな板面に固定可能である。この挿入部材の表面は、比較的広いので、-長さ3.2m,幅60~100mm,厚さ10~40mm-特に両面がクラフト紙で被覆されている発泡スチロール製のテープが使用される。このとき、複数の吸盤がこの挿入部材の面に接着される。この挿入部材の材料にほとんど安定性がないために、プレッシャーパッドが、押しボタンを連結するように各吸盤に敷設される。この場合、吸盤とプレッシャーパッドのこの連結部が挿入部材を貫通する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このスペーサは、本発明により、2つの要素だけで構成される。これらの要素のうちの一方の要素、付着要素が所定の位置の正確な保持を担当する一方で、他方の要素、支持要素は必要な支持力を受ける働きをする。この支持力は、精確に一定に保持される。両側に隣接する構造部材の各々を接着するため、このスペーサは、その両面にそれぞれ1つの付着要素を有してもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

部材11は、その外側面12上を接着手段で塗布されている。支持すべき加工品13の載置面に対して取外し可能な連結部が、繰返し形成され得る。